



目標:重症傷病者の受け入れ困難事案の低減による救急搬送時間の短縮
 本県における脳卒中の年齢調整死亡率の低減
 本県における急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の低減
 東日本大震災規模の地震に対応する医療救護体制の整備

	現在の課題	主な取組	主な事業(事業総額:基金負担分上限)
急性期	<p>救急搬送にあたり、消防と医療機関間の情報共有・連携が不十分</p> <p>桑名地域、東紀州地域における2次救急提供体制が脆弱</p>	<p>救急車からの情報を救急病院が共有するシステム導入</p> <p>桑名地域、東紀州地域での二次救急の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名市民病院と山本総合病院との統合(400床規模の新病院) ・東紀州地域で二次救急を担う病院の整備及び情報共有体制構築 	<p>MIE - NET構築事業(91,142千円:90,844千円)モデル地域を設定し、患者情報を救命救急センター等と共有するネットワークを構築</p> <p>桑名市民病院と山本総合病院の再編統合に伴う地域中核病院整備事業(14,313,164千円:2,874,906千円)両病院を再編統合</p> <p>紀南病院整備事業(1,873,324千円:516,236千円)病院本館を建替え、ヘリポートなどの施設を整備</p>
回復期	<p>県南地域において回復期リハビリテーション病棟がない</p> <p>心筋梗塞発症後のリハビリテーション設備が不十分</p>	<p>県南地域において、回復期リハビリテーション病棟を整備</p> <p>CCU施設において、心臓リハビリテーション設備を整備</p>	<p>回復期リハビリテーション病床整備事業(216,252千円:108,126千円)県南地域に回復期リハビリテーション病床を整備</p> <p>急性心筋梗塞回復期リハビリテーション設備整備事業(26,905千円:11,227千円)CCU施設等に心臓リハビリテーション設備を整備</p>
災害	<p>未曾有の大災害である東日本大震災を踏まえ、大規模災害発生時の医療体制を充実させる必要</p>	<p>災害時の医療を支える人材の育成等</p>	<p>災害時医療体制充実事業(15,357千円:13,932千円)災害時の医療体制充実のため人材育成を実施</p>

地域医療再生計画終了時の姿

この地域は、より早く・より適切な搬送の実現、救急病院から在宅まで安心の医療提供体制が構築される。



目標:安心・安全な妊娠・出産を実現
子どものこころと身体の健やかな成長を支援

		現在の課題	主な取組	主な事業(事業総額:基金負担分上限)
高度・専門的医療	周産期医療	<p>出生の多い北勢地域においてNICU等が不足 診療所(一次施設)と病院(二次・三次施設)の機能分担が不十分 新生児ドクターカーが老朽化 周産期医療を担う人材が不足</p>	<p>北勢地域にNICU等を整備するとともに、北勢に新たに県内2か所目の総合周産期母子医療センターを設置 産科オープンシステムを周産期母子医療センターで実施する等、分娩にかかる機能分担を推進 県内に新たな新生児ドクターカー整備 周産期医療を担う人材を育成</p>	<p>周産期医療体制強化事業(107,045千円:38,417千円)北勢地域にNICUを整備、産科オープンシステムの推進 新生児搬送体制充実事業(78,801千円:39,401千円)新たな新生児ドクターカーの整備 周産期医療従事者育成事業(4,512千円:4,512千円)周産期医療を担う人材を育成</p>
	小児発達支援	<p>障がいのある小児等への支援ニーズが高まる中、専門的な治療の提供が必要</p>	<p>県立草の実リハビリテーションセンターと県立小児心療センターあすなる学園をこころと身体の発達支援の拠点として一体的に整備</p>	<p>こころと身体の発達支援拠点整備事業(6,555,151千円:1,585,914千円)草の実とあすなるを一体的に整備</p>
在宅医療		<p>小児の在宅医療に対応する受け皿が不足</p>	<p>県内全域の小児在宅医療の充実に向けた取組実施</p>	<p>小児在宅医療支援ネットワーク構築事業(44,170千円:42,950千円)小児在宅医療に関する相談機能を有する拠点を整備</p>

地域医療再生計画終了時の姿
この地域は、母と子の、こころと体の健康が実現される。



目標: 地域医療を支える医師等の医療従事者を安定的に確保
 患者の立場に立った質の高いがん医療の提供とがんに関する情報提供の実施
 医療機関相互の連携の推進による効率的な医療提供体制の確立
 根拠に基づく適切な疾病対策の企画・立案を行う体制の整備

	現在の課題	主な取組	主な事業(事業総額:基金負担分上限)
人材育成、高度・専門的治療	医療人材の育成・復職支援等のキャリアサポートを組織的に進める必要 高度に専門性の高い人材の育成が必要 高齢化、疾病構造の変化から、全身を診られる総合医(家庭医)の育成が必要 医療安全・感染管理の専門家が不足	総合医を育成するための拠点を県内複数カ所に整備するとともに、研修資金の貸与等により総合医(家庭医)を育成 三重大学を中心に血管内治療センターやがん診療にかかる高度機器を整備して、その活用と研修資金貸与等により、高度専門医療を担う人材を育成 オープンスキルスラホ等の併設された人材育成・キャリア支援の拠点を整備 医療安全・感染管理に係る人材の育成と相談体制を整備	キャリア支援・指導医育成等事業(88,930千円:47,315千円)人材育成・キャリア支援の拠点を整備 総合医(家庭医)・専門医育成等事業(42,920千円:42,900千円)研修資金の貸与等により総合医(家庭医)、専門医を育成 脳卒中高度先進医療設備等整備事業(135,000千円:91,500千円)血管内治療にかかる高度機器の整備と人材育成 医療安全・感染管理の拠点整備事業(29,152千円:29,152千円)医療安全・感染管理を行う拠点の整備
	効率的な診療情報ネットワークの構築が必要	既存の高速ネットワークの活用により各種ネットワークの普及拡大	
	各傷病に対する疫学調査、研究に係る基盤整備が必要	がん等の疫学調査を実施	疫学調査による各種傷病対策推進事業(50,000千円:50,000千円)疫学調査の実施、分析

地域医療再生計画終了時の姿

この地域は、どこでも安心して質の高い医療を受けられる。